【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公表番号】特表2006-518253(P2006-518253A)
【公表日】平成18年8月10日(2006.8.10)
【年通号数】公開・登録公報2006-031
【出願番号】特願2006-503187(P2006-503187)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/82　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　31/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　29/02
Ａ６１Ｌ　31/00　Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年1月25日(2010.1.25)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１３】
図２及び図３において、拡張バルーンやカテーテルの周囲に、非拡張状態で圧着されたステント１００の実施例が示され、蹴上げ１４０は、踏み面１３６が互いに横方向へ離間するように機能する。図示される実施例において、１つの環状の蛇行帯１１２の各山部と近接する環状の蛇行帯１１２の対向する谷部との間には、３個の異なるコネクタストラット１２４がある。よって、各コネクタストラット１２４は、近接する２つの環状のコネクタストラット１２４に接触する。さらに、近接するコネクタストラット１２４は、２個の蹴上げ１４０及び２個の踏み面１３６に囲まれた、ほぼ平行四辺形をなす空間１４２を構成する。この空間により、ステント１００には、その径方向には曲げに対する可撓性が付与されるが、軸方向の圧縮力に対しては構造的な剛性を保持する。